

各事業のロードマップ（中期目標と17期の活動）

17-18期も学会の方針はこれまでと大きく変わることはなく、定款にある事業を円滑に運営した上で、スポーツ栄養学研究の基盤の強化を目指します。

委員会	中期的目標 (17-18期)	17期の事業到達目標	17期の実施計画
研究誌編集	研究と実践活動の両方の報告を含む独自性のある学会誌としてのプレゼンス向上	<ul style="list-style-type: none"> 第17号の総掲載数：15～20本（実践活動報告：5～10本） 研究・教育支援事業運営委員会と協力し、サプリメント号を発刊する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学会大会等での発表者に対し、論文（ショートレポートを含む）の執筆を促し、必要な支援を行う。 研究・教育支援事業運営委員会とサプリメント号発刊のための調整を行う。
研究・教育支援事業運営	<ul style="list-style-type: none"> 実践活動報告の発信に向けた各種講習会による支援体制づくり スポーツ現場に還元できるエビデンス構築のための体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 研究誌編集委員会と協力し、2023年8月に実践活動報告/症例報告のショートレポートをまとめた研究誌サプリメント号（ショートレポートを10本程度）を発刊する。 スポーツ栄養学の基盤を高めるための情報提供（更新研修・セミナー各1回）を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年10月と2024年3月に希望する会員（30～40名程度）を対象にショートレポート執筆マッチング企画を実施する。 投稿されたショートレポートに対する執筆指導および査読を随時行う。 2023年9月の第9回大会において、執筆マッチング企画に関するシンポジウムの開催、及びマッチング希望演題表記を採用する。 学会プロジェクトの実施に向けた課題の抽出を引き続き行う。 2023年11月に更新研修、12月にセミナーを開催する。講演内容は、公認スポーツ栄養士及び学会員に対し、スポーツ栄養に関連する科学的な知識についての講演、実践活動報告/症例報告の執筆などで16期中に明らかとなった課題を解決すべき点に視点を当てたものとする。

委員会	中期的目標 (17-18期)	17期の事業到達目標	17期の実施計画
渉外	<ul style="list-style-type: none"> 他団体との連携をよりスムーズに行う。 可能であれば、新規団体との連携を模索する。 臨スポとの合同シンポジウムのあり方を引き続き整理していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携機関等からのイベント開催の効果的な情報共有・発信 他学会と連携した合同イベントの開催と、学会員への周知、参加促進。 先方からの学会情報を学会員がどれだけ必要としているかを把握する。 関連学会や団体との連携状況を見える化し、必要とされる連携を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学会員の他学会の所属を把握するためのアンケートの実施を計画する。 日本臨床スポーツ医学会との合同シンポジウムの次年度以降の開催も計画的に進める。
国際交流	国際交流推進の意義を理解できる会員を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> PINES：E-Newsと記事の翻訳を行い、定期的に発信する。 KSEN：学術交流活動を再開する。 JSNA内における国際交流活動に対する理解度を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> PINESから届く全てのE-Newsの抜粋情報と、PINESが発信している記事を年間3-4編翻訳して学会員に発信する。 KSENと具体的な交流活動に向けた意見交換を行い、可能な範囲で活動を再開する。 HPに第16期の国際交流報告活動を掲載する。 2024年の学会での国際交流セッションの開催に向けて検討する。 JSNA会員に対する国際交流活動についてのアンケートを実施する。
認定事業運営	スポーツ現場においてPDCAサイクルに則った実践活動ができる公認スポーツ栄養士を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> 公認スポーツ栄養士の検定試験合格率アップと合格に向けたフォローアップを継続させる。 ベーシック講習会を滞りなく運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門講習会事前説明会を開催する。 専門講習会受講者交流会を開催する。 サテライト講習会を開催する(2回/年)。 再検定試験を実施する(2回/年)。 検定試験未受験者へ検定準備講座再受講の機会を設ける。 ベーシック講習会を、2023年12月にオンラインで開催する(3日間、受講者定員180名)。 講習会運営に関するマニュアルを整備する。

委員会	中期的目標 (17-18期)	17期の事業到達目標	17期の実施計画
ホームページ ・広報	ホームページを通じた学会活動の情報発信と見える化の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の実践活動とキャリア形成に関する動画コンテンツの作成と配信 ・学会活動の紹介動画コンテンツの作成準備 ・新規サイトによる安定的情報発信基盤の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数名の実践活動とキャリア形成に関する動画コンテンツを作成し、第9回大会市民公開講座で公開する。 ・上記、公開動画コンテンツをホームページで公開し、継続的に動画コンテンツを公開していく基盤を作る。 ・第8回大会学会企画シンポジウムで公開した委員会活動の紹介セッションを基に、学会活動の紹介動画コンテンツの構成を作成し、18期の公開に向けた基盤を作る。 ・新規サイトを安定的に運営し、継続的に情報発信を行う。